

(5) 第2学年 年間指導計画と評価規準

4月	単元名・教材名	1 音読しよう ふきのとう (10)	
	指導目標	◎「人物」を中心に役に分かれ、声の大きさや速さなどを工夫して音読することができる。	
	言語活動	■音読する。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1～2 「やくにわかれて音読を楽しもう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。全文を読み、おおまかな内容をとらえ、登場人物の行動と会話を整理する。</p> <p>3～6 グループで役割を決めて音読し、聞き合って感想を伝え合う。</p> <p>7～8 好きなところを書き抜き、理由を書いてグループで読み合う。春をテーマとした絵本があることを確認し、読書への興味をもつ。</p> <p>9～10 P15 の絵を見て、「一と、一。」の文型を使って文を作る。新出漢字を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師が範読する際には児童はどのように聞けばよいかを明確にしておく。 変化をもたせていろいろな形態の音読を取り入れるようにする。 言葉の繰り返しや短い音節によるテンポのよさ、リズムのある文章で喜びや躍動感を感じ取らせる。 「～のところがすきです。～だからです。」の文型を示す。
		<p>(関) 作品を読み、音読の仕方を工夫しようとしている。</p> <p>(読) 内容的なまとまり、繰り返しやリズムなどを楽しんで音読している。</p> <p>(言) 主語・述語のまとまりで読んでいる。</p>	
4月	単元名・教材名	春がいっぱい (1)	
	指導目標	◎春にかかわる身近なものを表す言葉を探し、友達と話し合することができる。	
	言語活動	■音読する。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 絵本で見付けた春の言葉などを紹介する。</p> <p>2～3 音読して何を見たときに春の訪れを感じるか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活科で学んだ経験も生かす。
		<p>(関) 季節の動植物にかかわる言葉を楽しんで交流しようとしている。</p> <p>(言) 季節の動植物や季節を感じる言葉を交流している。</p>	
4月	単元名・教材名	書くことを決めて、しらせよう 今週のニュース (4)	
	指導目標	◎友達に知らせたいことを見付けて出来事の様子や自分の気持ちを書くことができる。	
	言語活動	■一週間の出来事などを知らせるニュースを書く。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 「知ってほしいな、私のニュース」という学習課題を設定し学習の進め方を確認する。</p> <p>2 P18・19 から「今週のニュース」の書き方を確認する。</p> <p>3 題材を探してノートに書き出し、題材の選び方について友達と意見交換し、題材を選んでニュースを書く。</p> <p>4 書いたニュースをコーナーに掲示して友達の感想を添付する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一週間の出来事などを知らせるためのニュースコーナーを作る。 ニュースの内容に合わせて種類別の用紙を使わせると視点がはっきりしてよい。 学級の係にニュース係を設け、日常的な活動にするのもよい。
		<p>(関) 身近な出来事を「ニュース」ととらえ、みんなに知らせたいことを集めようとしている。</p> <p>(書) 身近な題材を選び、必要に応じて、いつ、どこで、だれが、どうしたなどを入れて書いている。</p> <p>(言) 経験したことを伝える言葉の働きに気付いている。</p>	
4月	単元名・教材名	2 読んでわかったことをまとめよう たんぼぼのちえ (12)	
	指導目標	◎時間の順序や理由付けを表す言葉に着目し、様子とわけなどを考えながら説明的な文章を読むことができる。	
	言語活動	■植物の生態について説明した文章を読む。	
		学習活動	指導上の留意点
		<p>1 「考えてみよう、たんぼぼのちえ」という学習課題を設定し学習の進め方を確認する。</p> <p>2 「たんぼぼのちえ」を読み、初発の感想を書く。</p> <p>3 咲いているたんぼぼの花の様子を読む。</p> <p>4 時を表す言葉に気を付けて「たねを太らせるちえ」について読み、そのわけをワークシートに書く。</p> <p>5 「たねをとばすちえ」について読み、そのわけを書く。</p> <p>6 「たねを遠くへとばすちえ」について読み、そのわけを書く。</p> <p>7 「天気によって綿毛の開き方を変えるちえ」について読み、そのわけを書く。</p> <p>8 「仲間を増やすちえ」について読み、そのわけを書く。</p> <p>9 ちえとそのわけについてワークシートに「わかったことや考えたこと」を書く。</p> <p>10 「たんぼぼのちえ」を読んで特におもしろいと感じたことや不思議だなと思ったことなど考えたことを感想に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元文とリード文を確認させる。 おもしろいと感じたことや、不思議だと思ったこと、初めて知ったことには本文にサイドラインを引かせて考えさせる。 身近なたんぼぼの様子を思い出して、本文と比べて気付いたことを話し合う。 ちえとそのわけを読むときには、挿絵を参考にさせる。 たんぼぼの花や綿毛になりきって、各場面で動作化を取り入れる。 わけを表す言い方「一のです。一からです。」をおさえる。 自宅にあるたんぼぼに関する本がある児童は持ってきて紹介するように促す。 たんぼぼに関する本を学校でも用意して読書に広げるようにする。

4月	11 書いた文章を読み合う。	
	12 P28の文型を使って短文を作る。 (関) 時間や事柄の順序に沿って、説明文を読もうとしている。 (読) 季節・日にち・時間を表す言葉に着目して読んでいる。 (言) 順序を表す言葉を理解している。	
5月	単元名・教材名	かん字の広場①(2)
	指導目標	◎絵に描かれた町の様子を想像して文に書くことができる。
	言語活動	■絵を言葉で説明する。
	学習活動	指導上の留意点
	1~2教科書の絵と漢字を見て、町の様子を想像して話を作る。絵の中の漢字を使い、句点に気を付けて文を書く。	・まずを四等分した右上に句点を書くことを確認する。
	(関) 提示された言葉を使って、文を書こうとしている。 (書) 語と語を適切につないで文を書いている。 (言) 提示された漢字を正しく使い、文を書いている。	
5月	単元名・教材名	3 きろくしよう かんさつ名人になろう(12)
	指導目標	◎知らせたいことが相手に伝わるように、題名をつけ、書き表し方を工夫して書くことができる。
	言語活動	■観察したことを記録する。
	学習活動	指導上の留意点
	1「かんさつ名人になろう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。P31の囲みを読む。 2~3「たまごをうんだよ」「のびるのびる」を読み、観察したことを記述するときに大切なことを整理する。 4~5P34の文を読み比べて、変化の様子が分かることを確認する。 6~9観察するものを決め、観察記録文を書く。 10~12観察記録文を友達と読み合い、よく観察できているところをカードに書いて交換する。書き方のまとめをして教室に掲示する。	・今までに生活科などで書いた観察記録を見直してみる。 ・「みたいだ」「ようだ」「ように」など様子を詳しく観察しているところに線を引かせる。 ・主語(何が)述語(どうした・どのようだ)を意識させる。 ・「かんさつのかた」の視点を掲示し、常に意識して書くように促す。 ・感想がまとめられない児童には作品と一緒に読みながら、おもしろいことや驚いたことを見付ける。
	(関) 身近なものに関心を持ち、動きや様子を、よく伝わるように書こうとしている。 (書) 観察記録文を書いている。 (言) 主語と述語を意識して書いている。	
5月	単元名・教材名	きいてたのしもう いなばの白うさぎ(2)
	指導目標	◎人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読み聞かせを聞き、内容や感想について聞いたり話したりすることができる。
	言語活動	■神話の読み聞かせを聞く。
	学習活動	指導上の留意点
	1知っている昔話や神話について出し合い、昔話を聞く意欲を高める。 ・挿絵からどんなお話かを想像する。 ・「いなばの白うさぎ」の読み聞かせを聞く。 ・だれができたか、だれが何をしてきたかについて話し合う。 2P38を見て自分が住む地方の昔話などに興味を持ち、図書館で昔話の本を探して読む。	・オオクニヌシの服装が今の時代のもので変わっていることに気付かせる。 ・いなば・いずも・わになど分かりづらい言葉の意味を簡単に説明する。 ・「照姫伝説」などについて調べておいて、2年生に分かりやすく説明する。
	(関) 場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しもうとしている。 (読) 読み聞かせを聞いて、登場人物の行動をとらえ、場面の様子を想像している。 (言) 主語・述語の関係に注意して、聞いている。	
6月	単元名・教材名	かたかなのひろば①(2)
	指導目標	◎片仮名の語を読んだり書いたりすることができる。
	言語活動	■「何が」「どうする」が整った文を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1動物の行動を想像して話を作り、長音・促音・拗音・濁音・半濁音などの表記のきまりを確かめる。 2作った話をもとに、片仮名を使った文を書く。	・1年生の学習を想起させる。 ・「何が」「どうする」のカードを色別にして、分かりやすくする。
	(関) 提示された片仮名を読み、それが示すものを楽しみながら絵の中から探そうとしている。 (言) 片仮名を正しく使っている。	
6月	単元名・教材名	だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう ともさんはどこかな(4)
	指導目標	◎絵の中に興味を持ち、大事なことを聞き落とさないようにしながら、聞くことができる。

	○必要な事柄を選び、声の大きさや速さに注意して、はっきりと話すことができる。	
	言語活動 ■迷子探しゲームをする。	
	学習活動	指導上の留意点
6月	<p>1朝の会・帰りの会でお知らせを聞くときに気を付けていることを発表した後「だいじなことを落とさずに話したり聞いたりしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2音声CDを聞いてともこさんを探し、聞き落とすと困ることについて話し合う。</p> <p>・聞き落としてはいけないことを整理し、大事なことをおさえて話しながら、二人組で迷子のお知らせゲームをする</p> <p>3遠足の持ち物や明日の用意を友達に連絡し合う。</p> <p>・話す速さやはっきりした発音を確かめたりして分かりやすいお知らせの方法を工夫する。</p> <p>4音声CDを聞いて自分たちのお知らせと比べ、学習の感想をもつ。</p>	<p>・朝の会の日直のスピーチでは、話し手が○まで何文で話しているか、聞き手は指を折りながら数えさせるのもよい。</p> <p>・聞き落としてはいけないことは何かを確かめさせる。特徴が分かる言葉（年齢・性別・洋服の色や形・持ち物など）をおさえる。</p> <p>・お知らせゲームを始める前に、ワークシートに特徴が分かる言葉を書かせてから始める。</p> <p>・「ウォーリーをさがせ」などの本を活用してもよい。</p> <p>・聞き取りメモは文で書かないで、単語で書くように促す。</p>
	<p>(関) 大事なことは何かを考えながら、ゲームに楽しく参加しようとしている。</p> <p>(話・聞) 大事なことが伝わるように意識して話している。</p> <p>(言) 平仮名で書くと同じ言葉でもアクセントによって指すことが異なってくることを理解している。</p>	
6月	単元名・教材名	同じぶぶんをもつかん字(2)
	指導目標 ◎漢字には同じ部分をもつものがあることを知り、部分に注意して、漢字の読み書きができる。	
	言語活動 ■同じ部分をもつ漢字を読んだり書いたりする。	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1漢字の同じ部分に気を付けて例文をノートに視写し、音読する。</p> <p>2巻末の漢字表から探し、漢字の仲間分けクイズをする。</p>	<p>・始めに教師が作った漢字クイズを導入に使い、最後に今度は自分たちで作った仲間分けクイズをする。</p>
	<p>(関) 漢字の同じ部分に関心を持ち、既習の漢字から共通の漢字を見付け出そうとしている。</p> <p>(言) 同じ部分をもつ漢字を意識して、読んだり書いたりしている。</p>	
6月	単元名・教材名	4お話を読んで、かんそうを書こう スイミー(10)
	指導目標 ◎人物の行動や場面の様子などについて想像を広げながら読み、感想を書くことができる。	
	言語活動 ■物語を読んで感想を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1～2おおまかな内容をつかみ、学習課題を設定し、初発の感想を書いて交流する。</p> <p>3学習の手引きを読み、話の構成をつかむ。</p> <p>4～5スイミーや大きな魚を追い出した魚たちの行動や会話を読み、言ってあげたい言葉を考えてメッセージを書く。</p> <p>6～8感想文を書き、読み合ってよいところを伝え合う。</p> <p>9「—のような」などのたとえの表現を使って文を書く。</p> <p>10レオ=レオニの絵本を各自読む。</p>	<p>・「スイミーのおうえんだんになろう」という気持ちを高める。</p> <p>・スイミーがしたことや言ったことを書き出し整理する</p> <p>・大きくてこわいものをやっつける話を読んだことがあるかを話し合っ、想像を広げる。</p> <p>・感想につながる部分を視写し、自分の経験と結び付けて感想をまとめる。</p>
	<p>(関) 場面に合わせて主人公や周りの人物の行動や会話に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。</p> <p>(読) 登場人物の行動や会話を整理し、場面の様子を理解して、自分の経験と結び付けて感想を書いている。</p> <p>(書) 様子を表す言葉を使って文を書いている。</p> <p>(言) 感想を表す言葉を考えている。</p>	
6月	単元名・教材名	かん字のひろば②(2) かん字のひろば①と同じ
7月	単元名・教材名	まとまりに分けてお話を書こう お話のさくしゃになろう(8)
	指導目標 ◎絵を見て経験したことや想像したことなどから書くことを決め、「はじめ・なか・おわり」のまとまりのある話を書くことができる。	
	言語活動 ■物語を作る。	
	学習活動	指導上の留意点
	1～3お話作りに必要な事柄をおさえ、3枚の絵を見て、展開部の	・今までに読んだお話の題名と作者を結び付けるクイズを

6月	役割をになう「なか」の出来事を考え、挿絵をかく。 4～5 冒頭部分にある4つのパターンから好きな一つを選んで「はじめ・なか・おわり」の部分の話を書く。 6～8 清書して製本した作品を読み合って、感想を伝える。	してお話作りを楽しもうという意欲付けをはかる。 ・「いつ・どこで・だれが・どうした」かをはっきりさせて会話を入れて話を作らせるようにする。 ・句読点に気を付けて、書き直す習慣を付ける。
	(関) 絵から想像を広げ、どんな出来事が起こる話にするか、楽しんで考えようとしている。 (書) 「はじめ・なか・おわり」の構成を意識して書いている。 (言) 句読点の打ち方やかぎ「」を正しく使っている。	
7月	単元名・教材名 うれしいことば (1)	
	指導目標 ◎人をうれしい気持ちにさせる言葉の働きに気付くことができる。 言語活動 ■うれしい言葉を言われたときの気持ちを文に書く。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 うれしい言葉を言われたときの気持ちを文に書き、友達と読み合っていて感じたことを話し合う。 (関) 言われてうれしかった言葉とそのときのことを思い出そうとしている。 (言) 言葉には人を喜ばせたり、うれしい気持ちにさせたりする働きがあることを理解している。	・これまでの生活を振り返り、誰にどんなことを言われたことがうれしかったか発表し合う。
7月	単元名・教材名 本は友だち お話クイズをしよう ミリーのすてきなぼうし (6)	
	指導目標 ◎図書館には、決まった本の選び方があることを理解する。 言語活動 ■本を読み、お話クイズをする。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 お話クイズのやり方を知り意欲的にクイズを考えたり答えたりすることを通して、学習課題をつかむ。 2～4 「ミリーのすてきなぼうし」を読み、登場人物が何をしたか、どんな出来事があったかを整理し、場面の様子を想像する。 5～6 お話クイズにぴったりの本を見つけ、お話クイズを作る。 (関) クイズを作るために、興味をもって本を読もうとしている。 (読) 登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読んでいる。 お話クイズを作るという目的をもって、本を選んで読んでいる。 (言) 語句を変えることによって、言葉には、意味のまとまりがあることに気付いている。	・「おおきなかぶ」「スイミー」をとりあげ一部の言葉を変えて読むことで間違いを見つけるお話クイズのイメージをもたせる。 ・自分が特におもしろい、不思議だと感じたところを選択し、クイズを作らせる。
9月	単元名・教材名 夏がいっぱい (2)	
	指導目標 ◎夏にかかわる言葉を探し、経験と結びつけて文章に表すことができる。 言語活動 ■夏を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。	
	学習活動	指導上の留意点
	1～2 夏を感じる言葉を探し、「夏だなあ」と感じた経験を文章に表す。 (関) 季節に関わる言葉に興味をもち、季節のお便りを書こうとしている。 (書) 夏を感じた経験を思い出して、文章に書いている。 (言) 季節の食べ物や植物、虫などについて知っている言葉を探している。	・思いつかない児童には生活科の教科書の写真などを活用して言葉を引き出す。
9月	単元名・教材名 こえに出して読もう おおきなあれ (2)	
	指導目標 ◎語のまとまりや言葉の響き等に気を付けて詩を音読することができる。 言語活動 ■音読する。	
	学習活動	指導上の留意点
	1～2 繰り返しや呼びかけの表現など、好きなのところのよさが伝わるようにグループごとに音読する。 (関) 言葉の響きを楽しみながら、いろいろな読み方を工夫して音読しようとしている。 (読) 繰り返しや擬態語の音の響きを楽しみながら、音読している。 (言) 擬態語があることに気付いている。	・表現の好きなのところについて話し合う場を設ける。
9月	単元名・教材名 つたえたいことを、はっぴょうしよう 大すきなもに、教えたい (5)	
	指導目標 ◎伝えたいことについて、必要な材料を集め、話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。 言語活動 伝えたいことを発表する。	

		学習活動	指導上の留意点
9 月		1 伝えたいことを考える。 2 発表したいものを決め、発表するために必要な事柄を書く。 3～4 発表の順序を考える。 5 話の順序に気を付けて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表したいものについて、伝えたいことを箇条書きにさせていく。 ・「です」「ます」を使った丁寧な言葉遣いにする。「初め、中、終わり」の構成にすることを確認する。
		(関) 大好きなものを伝えようとしている。 (話・聞) 伝えたいことについて、必要な事柄を集めている。 話す順序を考えて、敬体を使って話している。 (言) 事物の内容を表したり、経験を伝えたりする言葉の働きに気付いている。	
9 月	単元名・教材名	カンジューはかせの大はつめい(2)	
	指導目標	◎クイズを通して、漢字のつくりや熟語について確かめることができる。	
	言語活動	■漢字クイズを解き、漢字を正しく書く。	
		学習活動 1 問題のやり方を理解し、教科書の問題に取り組む。 2 グループごとに問題を作り、漢字クイズ大会を開く。	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・課題が早く終わった児童にも、さらに課題を用意しておく。
	(関) 漢字に興味をもち、いろいろな面から考えようとしている。 (言) 漢字クイズに提示された漢字を正しく読んだり書いたりしている。		
9 月	単元名・教材名	ことばであそぼう(1)	
	指導目標	◎平仮名を組み合わせて、意味のある言葉を作ることができる。	
	言語活動	■折り句や言葉遊びの歌を楽しむ。	
		学習活動 1 「あいうえお」「あかさたな」を使って文を作り発表する。 「ののはな」「ことこ」を音読して、言葉遊びを楽しむ。	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・題名と詩の関係に気付かせる。
	(関) 折り句を作ったり、言葉遊びの詩を音読したりして楽しもうとしている。 (言) 音節と文字の関係やアクセントによる語の意味の違いに気付いている。		
9 月 10 月	単元名・教材名	6 読んで考えたことを書こう どうぶつ園のじゅうい(1 2)	
	指導目標	◎時間的な順序や事柄の順序を考えながら、獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。	
	言語活動	■説明的な文章を読んで、感想を書く。	
		学習活動 1～3 全文を読んで「新しく知ったことを書こう」という学習課題を設定する。獣医の仕事を予想して、感想を書く。 4～6 獣医の仕事を表に整理し、新しく知ったことなどに線を引いたり囲んだりして、確かめる。 7～9 感想を書いて読み合い、考えたことを伝え合う。 10 学校の係の仕事や家の人に伝える文章を書く。 11～12 図書館で科学読み物を探して読む。	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・説明文や科学絵本でどんな話を読んだことがあるか、また、獣医について知っていることを話し合う。 ・おさえた内容に合わせて、サイドラインの色を変えて効果的に整理できるようにする。 ・自分が知っていることと比べて書くように助言する。 ・「はじめ」「なか」「おわり」の構成で書かせる。 ・関係の本を団体貸し出しを利用して冊数を確保する。
		(関) 自分の知っていることと結び付けて説明文を読もうとしている。 (読) 何について、そのようなことが、どのような順序で述べられているのかを理解している。 (言) 時間の順序を表す言葉を理解している。	
10 月	単元名・教材名	1 音読げきをしよう お手紙(1 2)	
	指導目標	◎場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をすることができる。	
	言語活動	■音読劇をする。	
	学習活動 1 扉の詩を読み、目次を見て下巻の国語の学習を見通す。 ・役に分かれて読むなど、音読を楽しくするアイデアについて話し合い、音読劇の楽しさに気付く。 2 全文の読み聞かせを聞いて「がまくんとかえるくんの音読げきを楽しもう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習への期待感をもつよう工夫する。 ・音読劇を成功させるためには何を学んだらよいかを意識させる。 	

10月	<p>3～5 「お手紙」を読み、おおまかな内容をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の移り変わりに着目して場面分けをする。 ・二人の行動と会話を場面ごとに整理する。 <p>6音読したい部分を決め、ノートに書き写して、読み方や動きについて書き込む。</p> <p>7グループで音読劇の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地の文と会話文を読み分ける。 ・読み方の工夫や声の大きさ、動きについて助言し合う。 <p>8音読劇を発表する。</p> <p>9音読を聞いた感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」を「わらってしまうところがある話」といったのはなぜか、自分ならなんというかをわけといっしょに話す。 <p>10「がまくんとかえるくん」はシリーズでほかのお話もあることを確認し、読書への意欲を喚起する。</p> <p>11手紙を出したり、もらったりしたときの気持ちについて話し合い、受け取った人がうれしい気持ちになる手紙を書く。</p> <p>12もらった手紙について感想を交流する。</p> <p>(関) 物語の特徴を生かして、音楽劇に生かそうとしている。 (読) 時、場所、人物、出来事や場面ごとの人物の様子を読み取り、人物の気持ちを想像している。 (書) たれに何を書こうかと考え、手紙にふさわしい形式で書いている。 (言) 主語と述語の関係を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板の上段をかえるくん、下段をがまくんとして会話の流れを構造的に視覚でとらえやすい板書の工夫をする。 ・書き込むときの共通の音読記号を教える。 ・がまくんの気持ちが表れるように役割に分かれて音読させる。 ・グループごとに1対1で聞き合う。または1グループごとに全員で聞き合うなど形態を工夫する。 ・よかったところや工夫していたところなどを話し合わせる。 ・手紙を出したり、もらったりしたときの気持ちについて話し合い、経験に即して手紙を書かせる。 													
10月	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 976 491 1012">単元名・教材名</td> <td data-bbox="497 976 1452 1012">主語と述語 (2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1021 1452 1084">指導目標 ◎読み物や自分がこれまでに書いてきたものにも主語・述語があることに気付き、文の中や生活の中での主語・述語の関係を理解することができる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1093 1452 1128">言語活動 ■主語や述語に気を付けて、音読する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1137 858 1173">学習活動</td> <td data-bbox="865 1137 1452 1173">指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1182 858 1290">1～2主語・述語には三つの文型があることや主語がないような特殊な場合があることを知る。話すとき書くときにも主語・述語をはっきりさせることが大切であることを知る。</td> <td data-bbox="865 1182 1452 1290">・主語・述語それぞれ色別のカードを使って、文の組み立てを視覚的にとらえやすくする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1299 1452 1397"> (関) 主語と述語という文中の役割に興味をもち、見付け出そうとしている。 (言) 文が主語と述語で構成されていることを知り、文を読むときや話すとき、書くときには主語と述語のつながりが大切であることを理解している。 </td> </tr> </table>	単元名・教材名	主語と述語 (2)	指導目標 ◎読み物や自分がこれまでに書いてきたものにも主語・述語があることに気付き、文の中や生活の中での主語・述語の関係を理解することができる。		言語活動 ■主語や述語に気を付けて、音読する。		学習活動	指導上の留意点	1～2 主語・述語には三つの文型があることや主語がないような特殊な場合があることを知る。話すとき書くときにも主語・述語をはっきりさせることが大切であることを知る。	・主語・述語それぞれ色別のカードを使って、文の組み立てを視覚的にとらえやすくする。	(関) 主語と述語という文中の役割に興味をもち、見付け出そうとしている。 (言) 文が主語と述語で構成されていることを知り、文を読むときや話すとき、書くときには主語と述語のつながりが大切であることを理解している。			
単元名・教材名	主語と述語 (2)														
指導目標 ◎読み物や自分がこれまでに書いてきたものにも主語・述語があることに気付き、文の中や生活の中での主語・述語の関係を理解することができる。															
言語活動 ■主語や述語に気を付けて、音読する。															
学習活動	指導上の留意点														
1～2 主語・述語には三つの文型があることや主語がないような特殊な場合があることを知る。話すとき書くときにも主語・述語をはっきりさせることが大切であることを知る。	・主語・述語それぞれ色別のカードを使って、文の組み立てを視覚的にとらえやすくする。														
(関) 主語と述語という文中の役割に興味をもち、見付け出そうとしている。 (言) 文が主語と述語で構成されていることを知り、文を読むときや話すとき、書くときには主語と述語のつながりが大切であることを理解している。															
10月	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 1415 491 1451">単元名・教材名</td> <td data-bbox="497 1415 1452 1451">かん字の読み方 (2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1460 1452 1496">指導目標 ◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを知り、文の中で正しく使うことができる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1505 1452 1541">言語活動 ■複数の読み方がある漢字を使って、文を書く。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1550 858 1585">学習活動</td> <td data-bbox="865 1550 1452 1585">指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1594 858 1648">1読み方によって、送り仮名が変わることを知る。</td> <td data-bbox="865 1594 1452 1648">・教科書の付録ページを活用する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1657 858 1711">2複数の読み方がある漢字を探し、文を作って発表する。</td> <td data-bbox="865 1657 1452 1711"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1720 1452 1756"> (関) 言葉によって同じ漢字でも違う読み方をするものがあることに興味をもち、読み方を確かめたり、文を読んだりしようとしている。 (言) いろいろな読み方をする漢字があることを知り、送り仮名を考えて正しく読んだり書いたりしている。 </td> </tr> </table>	単元名・教材名	かん字の読み方 (2)	指導目標 ◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを知り、文の中で正しく使うことができる。		言語活動 ■複数の読み方がある漢字を使って、文を書く。		学習活動	指導上の留意点	1 読み方によって、送り仮名が変わることを知る。	・教科書の付録ページを活用する。	2 複数の読み方がある漢字を探し、文を作って発表する。		(関) 言葉によって同じ漢字でも違う読み方をするものがあることに興味をもち、読み方を確かめたり、文を読んだりしようとしている。 (言) いろいろな読み方をする漢字があることを知り、送り仮名を考えて正しく読んだり書いたりしている。	
単元名・教材名	かん字の読み方 (2)														
指導目標 ◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを知り、文の中で正しく使うことができる。															
言語活動 ■複数の読み方がある漢字を使って、文を書く。															
学習活動	指導上の留意点														
1 読み方によって、送り仮名が変わることを知る。	・教科書の付録ページを活用する。														
2 複数の読み方がある漢字を探し、文を作って発表する。															
(関) 言葉によって同じ漢字でも違う読み方をするものがあることに興味をもち、読み方を確かめたり、文を読んだりしようとしている。 (言) いろいろな読み方をする漢字があることを知り、送り仮名を考えて正しく読んだり書いたりしている。															
11月	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="201 1765 491 1800">単元名・教材名</td> <td data-bbox="497 1765 1452 1800">きせつのはば③ 秋がいっぱい (2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1809 1452 1845">指導目標 ◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章を表すことができる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 1854 1452 1890">言語活動 ■秋を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1899 858 1935">学習活動</td> <td data-bbox="865 1899 1452 1935">指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1944 858 1998">1「まっかな秋」を音読し、秋を感じる言葉をカードに書いて整理し、「秋を感じるもの」について話し合う。</td> <td data-bbox="865 1944 1452 1998">・生活科の教科書にのっている秋を感じる写真を活用する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="201 2007 1452 2069"> (関) 身近なものの中から秋に関係する言葉を探し、自分の経験と結び付けて短い文章にまとめている。 (言) 提示された絵と言葉から連想する音や色、においの言葉などを交流している。 </td> </tr> </table>	単元名・教材名	きせつのはば③ 秋がいっぱい (2)	指導目標 ◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章を表すことができる。		言語活動 ■秋を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。		学習活動	指導上の留意点	1 「まっかな秋」を音読し、秋を感じる言葉をカードに書いて整理し、「秋を感じるもの」について話し合う。	・生活科の教科書にのっている秋を感じる写真を活用する。	(関) 身近なものの中から秋に関係する言葉を探し、自分の経験と結び付けて短い文章にまとめている。 (言) 提示された絵と言葉から連想する音や色、においの言葉などを交流している。			
単元名・教材名	きせつのはば③ 秋がいっぱい (2)														
指導目標 ◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章を表すことができる。															
言語活動 ■秋を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。															
学習活動	指導上の留意点														
1 「まっかな秋」を音読し、秋を感じる言葉をカードに書いて整理し、「秋を感じるもの」について話し合う。	・生活科の教科書にのっている秋を感じる写真を活用する。														
(関) 身近なものの中から秋に関係する言葉を探し、自分の経験と結び付けて短い文章にまとめている。 (言) 提示された絵と言葉から連想する音や色、においの言葉などを交流している。															

	単元名・教材名	2まとまりを分けて、お話を書こう お話のさくしゃになろう (10)
	指導目標	◎絵を見て想像したことから書くことを決め、「初め」「中」「終わり」のまとまりのある短い物語を書くことができる。
	言語活動	■物語を創造できる。
	学習活動	指導上の留意点
	1本の題名と作者名を結び付け、まとまりに気を付けてお話を書くことを知る。 2～6お話の「中」の出来事と、それにつながる「初め」と「終わり」の出来事をメモする。 7～10挿絵を描いたり、清書をしたりして、できあがった物語を読み合い、感想を伝え合う。	・これまでに学習した物語教材を結び付け、学習の見直しをもつ。 ・「初め」「中」「終わり」のまとまりを意識しながら書く。 ・話の流れを意識させながら、推敲する目的やポイントを知らせ、つなかりに気を付けて書くよう助言する。
	(関) 絵から想像を広げ、どんなお話にするか、楽しんで考えようとしている。 (書) 「初め」「中」「終わり」を考えて、物語を構成している。 (言) 句読点や助詞、かぎを正しく使っている。	
11月	単元名・教材名	かたかなで書くことば② (2)
	指導目標	◎どんな言葉を片仮名で書かかを知り、文の中で使うことができる。
	言語活動	■片仮名を使った文を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1～2 P32 の絵を見て片仮名で書かれている言葉に共通する点を見付け、片仮名を使った文を書く。	・「何が」「そうする」の整った文になっているか全員で確かめ合ってから書かせる。
	(関) 片仮名で書く語に興味をもち、楽しみながら片仮名を使った文を書こうとしている。 (書) 主・述の整っている文を書いている。 (言) 片仮名で書く語の種類を理解し、片仮名を正しく使っている。	
11月	単元名・教材名	3せつめいのしかたに気をつけて読もう しかけカードの作り方 (6)
	指導目標	◎「しかけカードの作り方」を読んでしかけカードを作り、「説明のしかた」を意識をもつことができる。
	言語活動	■事物の仕組みなどについて説明した文章を読む。
	学習活動	指導上の留意点
	1「じょうずな説明のしかたを見付けよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2～5本文を読み、実際に作ってみながらどんな言葉や表現が説明を分かりやすくしているかを考える。 6説明のポイントをカードに整理する。	・教科書の写真を見てペアになって説明をし合い説明することの難しさに気付かせる。 ・指導事項を掲示し、いつも必要ときに自分で確認できるようにする。 ・三つの観点を分かりやすく示す。
	(関) 事物の作り方に興味をもち、書かれていることを読み取ろうとしている。 (読) 手順、事柄の順序などに気付き、写真と文を照応させながら読んでいる。 (言) 順序性を示す表現の意味を理解している。	
11月	単元名・教材名	分かりやすくせつめいしよう おもちゃの作り方 (6)
	指導目標	◎おもちゃの作り方の手順に沿って、絵を用いながら文章を書くことができる。
	言語活動	■絵と文とで作り方を説明する。
	学習活動	指導上の留意点
	1学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。全文を読み「せつめいのこつ」が使われているところを探し、表現の仕方を学ぶ。 2生活科や図工の作品の中から説明する題材決める。 3作例の説明の順番を参考にして、「～の作り方」を書く。 4絵の役割を確かめ、必要などころに絵をかく。 5完成した説明書を読み合い、こつの使い方について評価し合う。 6物の作り方や遊び方が書いてある本を図書館で探し、上手に説明されているところを見付けて紹介する。	・前教材での学習を掲示物も参考に想起させる。 ・大切な言葉(数字・指示語・接続語など)に着目させる。 ・絵と説明が照応しているかどうか確かめながら書かせる。 ・書いた文章を読み返して、間違いなどを書き直す習慣をつけさせる。 ・友達の書いた説明書をもとに実際に作ってみるのもよい。

	<p>(関) 学習したことを生かし、分かりやすく事物の作り方を説明しようとしている。</p> <p>(書) 初めから終わりまでを内容のまとまりごとに幾つかに分けて配置し、手順に沿って書いている。</p> <p>(言) 順序を表す表現を用いて書いている。</p>				
12月	単元名・教材名	4 組み立てを考えて、はっぴょうしよう あったらしいな、こんなもの(1 4)			
	指導目標	◎自分の考えた事物の説明をしたり、説明を聞いて感想を述べたりする。			
	言語活動	■尋ねたり応答したりする。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 「あったらしいなこんなもの発表会をひらこう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2～4 絵に描き、道具を考えたわけや働きを考えてまとめる。</p> <p>5～9 よい発表会にするために発表の仕方を確かめ、話す順序や組み立てを考えてメモを書く。</p> <p>10～14 発表の練習をし、発表会を行い、学習を振り返る。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 絵をもとに考えさせることによって、道具の働きを詳しく考える手助けにする。 付録を聞いて、発表する内容や、聞く人ノ姿勢について話し合わせる。聞く人にとって分かりやすい発表の構成を考えさせる。 めあてをもって取り組ませ、質問や感想を交流させる。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(関) 相手に分かるように話したり、友達の考えたものについて聞こうとしたりしている。</p> <p>(話・聞) 相手に分かりやすいよう話す順序を考え、発表している。</p> <p>声の大きさ、速さ、顔の向きなどに注意している。</p> <p>(言) 事物の形や働きを表す言葉の働きに気付いている。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 「あったらしいなこんなもの発表会をひらこう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2～4 絵に描き、道具を考えたわけや働きを考えてまとめる。</p> <p>5～9 よい発表会にするために発表の仕方を確かめ、話す順序や組み立てを考えてメモを書く。</p> <p>10～14 発表の練習をし、発表会を行い、学習を振り返る。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 「あったらしいなこんなもの発表会をひらこう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2～4 絵に描き、道具を考えたわけや働きを考えてまとめる。</p> <p>5～9 よい発表会にするために発表の仕方を確かめ、話す順序や組み立てを考えてメモを書く。</p> <p>10～14 発表の練習をし、発表会を行い、学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵をもとに考えさせることによって、道具の働きを詳しく考える手助けにする。 付録を聞いて、発表する内容や、聞く人ノ姿勢について話し合わせる。聞く人にとって分かりやすい発表の構成を考えさせる。 めあてをもって取り組ませ、質問や感想を交流させる。 				
12月	単元名・教材名	にたいみのことば、はんたいのいみのことば (2)			
	指導目標	◎類義語や対義語に興味をもち、言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。			
	言語活動	■類義語や対義語の規則を用いて言葉探しをすることができる。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1～2 教科書の例文をもとに、似た意味の言葉を集めて発表したり、反対の意味の言葉が複数あるものを集めて発表したりする。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の絵を提示し「帽子・洋服」など身に着けるものによって反対の意味の言葉が幾つかあることを確かめる。 自分で似た意味の言葉を探すことが困難な児童には、() 抜きで提示し、どんな言葉がよいかを考えられるようにする。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(関) 日頃から使っている言葉の中から、類義語と対義語を見つけようとしている。</p> <p>(言) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、類義語と対義語を集めている。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1～2 教科書の例文をもとに、似た意味の言葉を集めて発表したり、反対の意味の言葉が複数あるものを集めて発表したりする。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1～2 教科書の例文をもとに、似た意味の言葉を集めて発表したり、反対の意味の言葉が複数あるものを集めて発表したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の絵を提示し「帽子・洋服」など身に着けるものによって反対の意味の言葉が幾つかあることを確かめる。 自分で似た意味の言葉を探すことが困難な児童には、() 抜きで提示し、どんな言葉がよいかを考えられるようにする。 				
12月	単元名・教材名	5 お話のじんぶつと自分をくらべて読もう わたしはおねえさん (1 2)			
	指導目標	◎登場人物の行動や場面の様子から想像を広げながら読み自分の経験と結び付けて感想をもつことができる。			
	言語活動	■楽しんでお話を読む。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 心に残った言葉や文を書き抜いたカードをお話の順に並べて読み比べ、友達との相違に気付く。</p> <p>3～5 すみれちゃんの言動についての疑問をグループで話し合い、まとまった意見を学級で報告し合う。</p> <p>6～8 すみれちゃんの言動で一番心に残ったことをカードから選び、感想を書き、友達と読み比べる。</p> <p>9～11 2年生になってお姉さん・お兄さんになったなど思うことを300字程度の文章に書く。</p> <p>12 自分と同年代の主人公が出てくる話を読んだ経験について話し合う。「すみれちゃん」シリーズがあることを知る。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 1年生の時と今の自分と比べて「お姉さん・お兄さん」になったなど思うことについて話し合わせる。今の自分と登場人物と比べながら本文を読ませる。 P60・61の学習の手引きの質問を参考にさせる。 心に残ったことを書き抜くカードと自分の意見を書くカードの色を変えて書かせる。 300字がどの程度の長さか分かるように、例文を示す。 紹介できる本を予め用意しておく。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(関) 等身大の人物が描かれた物語を自分の体験や気持ちと重ねながら興味をもって物語を読もうとしている。</p> <p>(読) 心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験を思い出して登場人物と似ているところや違うところを比べている。</p> <p>(書) 身の回りの出来事、経験を思い出して書くことを決めている。</p> <p>(言) 主語・述語の関係に注意している。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 心に残った言葉や文を書き抜いたカードをお話の順に並べて読み比べ、友達との相違に気付く。</p> <p>3～5 すみれちゃんの言動についての疑問をグループで話し合い、まとまった意見を学級で報告し合う。</p> <p>6～8 すみれちゃんの言動で一番心に残ったことをカードから選び、感想を書き、友達と読み比べる。</p> <p>9～11 2年生になってお姉さん・お兄さんになったなど思うことを300字程度の文章に書く。</p> <p>12 自分と同年代の主人公が出てくる話を読んだ経験について話し合う。「すみれちゃん」シリーズがあることを知る。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 心に残った言葉や文を書き抜いたカードをお話の順に並べて読み比べ、友達との相違に気付く。</p> <p>3～5 すみれちゃんの言動についての疑問をグループで話し合い、まとまった意見を学級で報告し合う。</p> <p>6～8 すみれちゃんの言動で一番心に残ったことをカードから選び、感想を書き、友達と読み比べる。</p> <p>9～11 2年生になってお姉さん・お兄さんになったなど思うことを300字程度の文章に書く。</p> <p>12 自分と同年代の主人公が出てくる話を読んだ経験について話し合う。「すみれちゃん」シリーズがあることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の時と今の自分と比べて「お姉さん・お兄さん」になったなど思うことについて話し合わせる。今の自分と登場人物と比べながら本文を読ませる。 P60・61の学習の手引きの質問を参考にさせる。 心に残ったことを書き抜くカードと自分の意見を書くカードの色を変えて書かせる。 300字がどの程度の長さか分かるように、例文を示す。 紹介できる本を予め用意しておく。 				

12月	単元名・教材名	1年生でならった漢字 かん字の広場(2)
	指導目標	◎1年生に配当されている漢字を文の中で使うことができる。
	言語活動	■絵と対応する文を書くことができる。
	学習活動	指導上の留意点
	1 絵を見て町の様子や人々のしていることを確認し、さんすうの問題を作ることを知り、絵の中の言葉を使って算数の問題を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら十分に話すことで絵の中の様子を文章に書くという意欲を高める。 ・数字だけでなく、数詞についても正しく使うことができているかを確認する。
	2 グループごとに問題を発表し、学習を振り返る。	
	(関) 数を表す言葉を使って、楽しみながら算数の問題を作ろうとしている。	
	(書) 語と語のつながりや数詞に気を付けながら、算数の問題を作っている。	
	(言) 提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	
12月	単元名・教材名	きせつのことば④ 冬がいっぱい (2)
	指導目標	◎冬に関わる言葉を探し、自分の経験と結び付けて文章に表すことができる。
	言語活動	■季節の動植物や季節を感じる言葉を使うことができる。
	学習活動	指導上の留意点
	1~2冬に関わる言葉を探し、冬に関する言葉と、それに関わる出来事の一つを選んでカードに書き、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・雪が降った日や冬の動植物や風景について交流する中で感想をもてるようにする。
	(関) 季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。	
	(書) 冬を感じた経験を思い出して文章に書いている。	
1月	単元名・教材名	声に出してたのしもう てのひらを太陽に(2)
	指導目標	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて詩を音読することができる。
	言語活動	■詩を音読する。
	学習活動	指導上の留意点
	1~2詩を読んで感じたことや気付いたこと、好きなところをいなど思ったことを発表し、効果的な読み方を生かして音読し、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人音読、グループ音読、役割音読など、多様な方法で読んだり、問いかけるように読んだり工夫させる。
	(関) 詩に書かれた内容や言葉のリズムを楽しみながら音読しようとしている。	
	(読) 言葉のまとまりや繰り返しを意識しながら、音読している。	
	(言) 詩の中の言葉について、その印象を別の言葉を使って表している。	
1月	単元名・教材名	ことばについて考えよう ようすをあらわすことば(4)
	指導目標	◎様々な様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げることができる。
	言語活動	■様子を表す言葉を使って、文を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1教科書の写真を見て雨の様子にぴったり合う言葉をカードに書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の様子を表す効果音のCDを使って表現させてもよい。 ・P71の言葉を3種類に分けながら短文を発表させていく。
	2~3同じ雨でもその様子を表す言い方が様々にあることを知り、オノマトペや比喩表現のよさに気付く。	
	4 P71の言葉を使って短文を作り、発表する。	
	(関) 様子を表す言葉に興味をもち、その表す内容を考えようとしている。	
	(言) 様子を表す言葉には3種類あること、またその使い方について理解している。	
1月	単元名・教材名	詩を作ろう 見たこと かんじたこと(5)
	指導目標	◎様子を表す言葉の使い方に注意して、教科書にある例を参考にして、詩を書くことができる。
	言語活動	■詩を書く。
	学習活動	指導上の留意点
	1学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ようすをびたりとあらわすことばをつかって詩を書く」という学習課題にし、前教材で学んだことを想起させる。 ・題材選びには生活科の経験を参考にさせるのもよい。 ・よかったよカードを用意する。
	2~4三つの詩を音読し、擬声語や擬態語、比喩表現が使われているところを確認する。身近なものから題材を選び、学習したことを生かして、詩を書く。	
	5友達と読み合って、感想を伝え合う。	

	(関) 様子を表す言葉を用いて、詩を書こうとしている。 (書) 様子の表し方を工夫して、詩を書いている。 (言) 様子を表す言葉の働きに気付いている。														
1月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>聞いてたのしもう 三まいのおふだ (1)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎読み聞かせを聞き、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げることができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■昔話の読み聞かせを聞く。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 場面の様子を想像しながら、読み聞かせを楽しもうとしている。 (読) 読み聞かせを聞いて、登場人物の行動をとらえ、場面の様子を想像している。 (言) 主語・述語の関係に注意して、聞いている。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	聞いてたのしもう 三まいのおふだ (1)	指導目標	◎読み聞かせを聞き、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げることができる。	言語活動	■昔話の読み聞かせを聞く。		<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 		(関) 場面の様子を想像しながら、読み聞かせを楽しもうとしている。 (読) 読み聞かせを聞いて、登場人物の行動をとらえ、場面の様子を想像している。 (言) 主語・述語の関係に注意して、聞いている。
単元名・教材名	聞いてたのしもう 三まいのおふだ (1)														
指導目標	◎読み聞かせを聞き、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げることができる。														
言語活動	■昔話の読み聞かせを聞く。														
	<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 										
学習活動	指導上の留意点														
1挿絵の順番を考えて、どんなお話か想像する。 2「三まいのおふだ」の読み聞かせを聞き、一番おもしろいと思ったことを話型にそって話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・山んばの言葉のリズムを楽しませる。 ・鬼が出てくる絵本を紹介する。 														
	(関) 場面の様子を想像しながら、読み聞かせを楽しもうとしている。 (読) 読み聞かせを聞いて、登場人物の行動をとらえ、場面の様子を想像している。 (言) 主語・述語の関係に注意して、聞いている。														
1月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>6 知っていることとつなげて読もう おにごっこ (10)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎「おにごっこ」を説明する文章を読み、自分の経験を結び付けて、思いや考えを発表することができる。 ○経験したことなどから書くことを決め、示された型に沿って文章を書くことができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■示された型に沿って文章を書く。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 自分の知っていることを思い出しながら、説明文を読もうとしている。 (読) 何についてどのようなことが述べられているか理解している。 (書) 示された構成を使って、文章を書いている。 (言) 人の動きを表す言葉を理解している。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	6 知っていることとつなげて読もう おにごっこ (10)	指導目標	◎「おにごっこ」を説明する文章を読み、自分の経験を結び付けて、思いや考えを発表することができる。 ○経験したことなどから書くことを決め、示された型に沿って文章を書くことができる。	言語活動	■示された型に沿って文章を書く。		<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 		(関) 自分の知っていることを思い出しながら、説明文を読もうとしている。 (読) 何についてどのようなことが述べられているか理解している。 (書) 示された構成を使って、文章を書いている。 (言) 人の動きを表す言葉を理解している。
単元名・教材名	6 知っていることとつなげて読もう おにごっこ (10)														
指導目標	◎「おにごっこ」を説明する文章を読み、自分の経験を結び付けて、思いや考えを発表することができる。 ○経験したことなどから書くことを決め、示された型に沿って文章を書くことができる。														
言語活動	■示された型に沿って文章を書く。														
	<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 										
学習活動	指導上の留意点														
1～2、人気のあるおにごっこには遊び方や工夫があることを知り、「おにごっこ」を読んで感想を話し合う。 3～4「おにごっこ」の文章構成をつかむ。 5～8よくするおにごっこの遊び方を振り返り、似ているところと違うところ・工夫しているところについて話し合う。 9～10 いつもしている遊びを二つ選んで文に書き、友達と読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・予めおにごっこの人気ランキング調査をして興味をもたせる。 ・問いかけの文を書き抜き、それに対応する内容をノートに整理させる。 ・自分の経験を思い出させる。 ・どんな遊びか・どんなきまりか・なぜそのきまりを考えたのか、よく話し合ってから書かせる。 														
	(関) 自分の知っていることを思い出しながら、説明文を読もうとしている。 (読) 何についてどのようなことが述べられているか理解している。 (書) 示された構成を使って、文章を書いている。 (言) 人の動きを表す言葉を理解している。														
2月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>すすんで考えを出し合おう みんなできめよう (8)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■グループで話し合っって考えを一つにまとめる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 話し合っって何かを決めるときに大切なことは何かを理解しようとしている。 (話・聞) 話題について自分の考えをもち、意見に理由を添えて発言している。 (言) 考えたことを伝える言葉の働きに気付いている。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	すすんで考えを出し合おう みんなできめよう (8)	指導目標	◎互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。	言語活動	■グループで話し合っって考えを一つにまとめる。		<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 		(関) 話し合っって何かを決めるときに大切なことは何かを理解しようとしている。 (話・聞) 話題について自分の考えをもち、意見に理由を添えて発言している。 (言) 考えたことを伝える言葉の働きに気付いている。
単元名・教材名	すすんで考えを出し合おう みんなできめよう (8)														
指導目標	◎互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。														
言語活動	■グループで話し合っって考えを一つにまとめる。														
	<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 										
学習活動	指導上の留意点														
1～4学級や班の話合いの様子を思い出しながら、せとさんのグループではどんなことを決めようとしているのか確認する。 5～7議題を決めてグループで話し合う。 8自分たちの話合いの仕方を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・P95の話し合うときの大切なことをおさえて、自分のめあては特にどれにするか考えさせる。 ・自分たちの話合いの様子を録音して聞いてみて、振り返りに役立てるのもよい。 														
	(関) 話し合っって何かを決めるときに大切なことは何かを理解しようとしている。 (話・聞) 話題について自分の考えをもち、意見に理由を添えて発言している。 (言) 考えたことを伝える言葉の働きに気付いている。														
2月	<table border="1"> <tr> <td>単元名・教材名</td> <td>かん字の広場⑤ (2)</td> </tr> <tr> <td>指導目標</td> <td>◎絵を見て主語と述語のつながりに気を付けて、公園の様子を書くことができる。</td> </tr> <tr> <td>言語活動</td> <td>■一年生に配当されている漢字を使って、文を書く。</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(関) 提示された漢字を使って楽しんで文を書いている。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて、文を書いている。 (言) 提示された漢字を正しく使って、文を書いている。</td> </tr> </table>	単元名・教材名	かん字の広場⑤ (2)	指導目標	◎絵を見て主語と述語のつながりに気を付けて、公園の様子を書くことができる。	言語活動	■一年生に配当されている漢字を使って、文を書く。		<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 		(関) 提示された漢字を使って楽しんで文を書いている。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて、文を書いている。 (言) 提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
単元名・教材名	かん字の広場⑤ (2)														
指導目標	◎絵を見て主語と述語のつながりに気を付けて、公園の様子を書くことができる。														
言語活動	■一年生に配当されている漢字を使って、文を書く。														
	<table border="1"> <tr> <td>学習活動</td> <td>指導上の留意点</td> </tr> <tr> <td>1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 </td> </tr> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 										
学習活動	指導上の留意点														
1～2絵の中の言葉を組み合わせて、主語と述語の整った文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文に主語と述語それぞれ色別のサイドラインを引いて、整った文になっているか確かめさせる。 														
	(関) 提示された漢字を使って楽しんで文を書いている。 (書) 主語・述語の関係に気を付けて、文を書いている。 (言) 提示された漢字を正しく使って、文を書いている。														

2 月	単元名・教材名	なかまのことばとかん字（2）			
	指導目標	◎仲間の言葉や漢字を知り、文や文章の中で正しく使うことができる。			
	言語活動	■仲間分けクイズを作って互いに解く。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1言葉をカードに書いて掲示し、仲間分けクイズをする。仲間分けの理由を説明し、観点を整理する。 2グループで教科書以外の仲間の言葉を集め、クイズをする。 </td> <td>・ひらがなだけでなく習った漢字も含んだ言葉をクイズに使うように条件を示す。</td> </tr> </tbody> </table> <p>（関）言葉には仲間があることに興味をもち、漢字を関係付けて覚えようとしている。 （言）言葉には同類のもの・対になるもの・反対になるものなどがあることを知り、漢字を正しく使っている。</p>	学習活動	指導上の留意点	1 言葉をカードに書いて掲示し、仲間分けクイズをする。仲間分けの理由を説明し、観点を整理する。 2 グループで教科書以外の仲間の言葉を集め、クイズをする。
学習活動	指導上の留意点				
1 言葉をカードに書いて掲示し、仲間分けクイズをする。仲間分けの理由を説明し、観点を整理する。 2 グループで教科書以外の仲間の言葉を集め、クイズをする。	・ひらがなだけでなく習った漢字も含んだ言葉をクイズに使うように条件を示す。				
2 月	単元名・教材名	7 お話を、そうぞうしながら読もう スーホの白い馬（12）			
	指導目標	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、自分の感想の中心をとらえることができる。 ○物語の心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想をまとめ、交流することができる。			
	言語活動	■物語の感想を伝えることができる。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1「お話をそうぞうしながら読もう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確かめる。 2本文を読み、一番心が動いた場面について話し合う。 3～7話の順に人物がしたことや言ったことを確かめ、そうしたり、言ったりしたわけについて話し合う。 8想像を広げるために、どんなところに気を付けて読んだか振り返る。 9～11初めの感想と比べて変わったところを発表したり、想像して読んだりすることの楽しさを確かめる。 12複合語の語感の違いについて話し合う。 </td> <td> ・モンゴルの草原風景や衣食住・馬頭琴の調べなど紹介して物語の背景についてイメージをもたせる。 ・選べない児童には挿絵も参考にさせる。 ・スーホと白馬との心の強い結び付きが表れている表現に着目させるようにする。 ・強く心に残ったわけやそのことをどう思うかを伝えるようにする。 ・初発の感想と比べて感想の内容が深まったり、感想が加わったり一番心に残ったところが変わったりすることを確かめる。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>（関）想像を広げて読むことの楽しさに気付き、物語を読もうとしている。 （読）登場人物の行動から、場面の様子を想像して読んでいる。 初めの感想と詳しく読んだ後の感想を比べ、感想の変化に気付いている。 （言）複合語の語感の違いに気付いている。</p>	学習活動	指導上の留意点	1 「お話をそうぞうしながら読もう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確かめる。 2 本文を読み、一番心が動いた場面について話し合う。 3～7 話の順に人物がしたことや言ったことを確かめ、そうしたり、言ったりしたわけについて話し合う。 8 想像を広げるために、どんなところに気を付けて読んだか振り返る。 9～11 初めの感想と比べて変わったところを発表したり、想像して読んだりすることの楽しさを確かめる。 12 複合語の語感の違いについて話し合う。
学習活動	指導上の留意点				
1 「お話をそうぞうしながら読もう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確かめる。 2 本文を読み、一番心が動いた場面について話し合う。 3～7 話の順に人物がしたことや言ったことを確かめ、そうしたり、言ったりしたわけについて話し合う。 8 想像を広げるために、どんなところに気を付けて読んだか振り返る。 9～11 初めの感想と比べて変わったところを発表したり、想像して読んだりすることの楽しさを確かめる。 12 複合語の語感の違いについて話し合う。	・モンゴルの草原風景や衣食住・馬頭琴の調べなど紹介して物語の背景についてイメージをもたせる。 ・選べない児童には挿絵も参考にさせる。 ・スーホと白馬との心の強い結び付きが表れている表現に着目させるようにする。 ・強く心に残ったわけやそのことをどう思うかを伝えるようにする。 ・初発の感想と比べて感想の内容が深まったり、感想が加わったり一番心に残ったところが変わったりすることを確かめる。				
3 月	単元名・教材名	ことばを楽しもう（1）			
	指導目標	◎回文を楽しみ、言葉のおもしろさに気付くことができる。			
	言語活動	■音読する。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1教科書の回文を音読する。回文の仕組みを知り、回文のおもしろさに気付く。 </td> <td>・文の中に隠された言葉を探し、分かち書きをして確かめさせる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>（関）回文のおもしろさに気付き、提示された文を楽しんで読もうとしている。 （言）提示された文の中に隠れた語に気付き、回文の仕組みに気付いている。</p>	学習活動	指導上の留意点	1 教科書の回文を音読する。回文の仕組みを知り、回文のおもしろさに気付く。
学習活動	指導上の留意点				
1 教科書の回文を音読する。回文の仕組みを知り、回文のおもしろさに気付く。	・文の中に隠された言葉を探し、分かち書きをして確かめさせる。				
3 月	単元名・教材名	8 できごとや気持ちがたわるるように書こう 楽しかったよ、二年生（14）			
	指導目標	◎楽しかったことの中心が明確になるように、「はじめ・中・おわり」の構成で、ひとまとまりの文章を書くことができる。			
	言語活動	■経験したことを報告する文章を書く。			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 11年間に撮りためた写真を見て、楽しかった思い出を話し合い、「2年生の思い出を文集にまとめよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2楽しかった思い出から一番書きたい題材を選ぶ。 3～5題材について取材し、メモを書く。 6～7「はじめ・なか・おわり」を意識して構成メモを書く。 8～12構成メモをもとに下書きし、清書する。 13～14学級の作品をまとめて表紙を付け、文集を作り、感想を交 </td> <td> ・1年間の記録をもとに「何が・どのように楽しかったか」をしっかり思い出させる。 ・友達や先生、家族に聞いたりして取材の時間を十分にとる。 ・構成メモが長くなりすぎないように、「～たこと」のようにまとめさせるとよい。 ・思ったことや感じたことを表す言葉を選ぶときには上巻の語彙表なども活用するとよい。 </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 1年間に撮りためた写真を見て、楽しかった思い出を話し合い、「2年生の思い出を文集にまとめよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 楽しかった思い出から一番書きたい題材を選ぶ。 3～5 題材について取材し、メモを書く。 6～7 「はじめ・なか・おわり」を意識して構成メモを書く。 8～12 構成メモをもとに下書きし、清書する。 13～14 学級の作品をまとめて表紙を付け、文集を作り、感想を交
学習活動	指導上の留意点				
1 1年間に撮りためた写真を見て、楽しかった思い出を話し合い、「2年生の思い出を文集にまとめよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 楽しかった思い出から一番書きたい題材を選ぶ。 3～5 題材について取材し、メモを書く。 6～7 「はじめ・なか・おわり」を意識して構成メモを書く。 8～12 構成メモをもとに下書きし、清書する。 13～14 学級の作品をまとめて表紙を付け、文集を作り、感想を交	・1年間の記録をもとに「何が・どのように楽しかったか」をしっかり思い出させる。 ・友達や先生、家族に聞いたりして取材の時間を十分にとる。 ・構成メモが長くなりすぎないように、「～たこと」のようにまとめさせるとよい。 ・思ったことや感じたことを表す言葉を選ぶときには上巻の語彙表なども活用するとよい。				

<p>流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長音・拗音・促音・撥音・助詞・句読点やかぎの適切な使い方を見直させる。既習漢字の使用も確認する。 ・文集を読み合い、家族にプレゼントするのもよい。
<p>(関) 2年生の生活を振り返り、楽しかったことやがんばったことを思い出し、文章で書き表そうとしている。</p> <p>(書) 関連していることを思い出したり、取材したりしている。初め・中・終わりを意識して書いている。</p> <p>(言) 助詞や句読点、かぎ(「」)を正しく使っている。</p>	

第2学年書写 年間指導計画

ア 姿勢や用具の持ち方を正しく丁寧に書くこと。

イ 点画の長短・接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を書くこと。

月	単元名・教材名	曜	目標	主な学習活動と留意点
4	1はじめの一步 ・字を書くしせい ・えん筆のもち方 ・いろいろな点や線を書こう	2～3	書くときの正しい姿勢を理解することができる。 硬筆用具の正しい持ち方を理解することができる。 姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、点や線を書くことができる。	①教科書の写真を見て正しい姿勢を知る。 ②教科書を見て、鉛筆の正しい持ち方をする ③姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、点や線をなぞるなどする。
5 ・ 6	2かん字けんきゅう室 ・字の外形 ・書き順 ・画の長さ ・画の方向	6～8	漢字の外形に気を付けて書くことができる。 漢字の筆順の決まりを知り、筆順に気を付けて書くことができる。 漢字の横画・縦画・左払いの長短に気を付けて書くことができる。 漢字の左払いの方向の違いや折れ、そり、曲がりの方向に気を付けて、書くことができる。	①漢字の外形について調べ、縦長四角、横長四角、正方形、三角形などいろいろな外形があることを確かめる。 ②筆順に気を付けて、漢字は点と画でできていることを確かめ、「左、右」の横画と左払いの筆順の違いを確かめる。 ③それぞれの横画の長さを比べ、一字に横画が複数ある場合、長い画が一画あることを知る。 ④左払い・右払いそれぞれいろいろな方向があることを知り、左払いの方向に気を付けて書く。 ⑤折れの方向に気を付けて、書く。 ⑥そりや曲がりの方向に気を付けて正しく書き直す。
7	3かん字大すき	3	これまでに学んだ漢字の外形や筆順、画の長さや方向に気を付けて、文を書くことができる	①五つの語句の外形、筆順、画の長さや方向を確かめ、語句を使って絵の様子を文に書く。 ②学んだことを生かして、住んでいる町の好きなところの紹介文を書く。
9	4ひらがなとかたかな	3	平仮名と片仮名の五十音表を参考にして、外形、画の送筆・終筆について学習したことを振り返ることができる。 平仮名と片仮名の外形、筆順、画の送筆・終筆に気を付けて、夏休みの思い出を書くことができる。	①平仮名や片仮名の五十音表を見て、外形や筆順に気を付けて書く。 ②似ている平仮名と片仮名を比べ、その違いを確かめる。 ③横書きで文を書くときには、上の線と下の線の真ん中に書くことを知る。
10 ・ 11	5かん字たんけん ・画のつけ方と交わり方 ・画や点の間 ・字の中心 ◇かん字のへんしん	6～8	漢字の画の接し方・交わり方に気を付けて書くことができる。 漢字の画や点の間に気を付けて書くことができる。 文字の中心に気を付けて書くことができる。 漢字が部分になった時の形に気を付けて書くことができる。	①画や点のいろいろな交わり方や接し方を知り、気を付けて書く。 ②画や点の間に気を付けて「早、買、場、魚」を書く ③縦画や点が文字の中心にあることやそれ以外の文字の中心を知る。 ④文字の中心を見付け、ます目の中心に合わせて書く ⑤二つの漢字を合わせたとき、元の漢字は形が変わることを知る。 ⑥二つの漢字を合わせて別の漢字を作り、形の変化に気を付けて書く。
12 ・ 1	6お話や文しょうを書こう ・書きぞめ	5	筆順と文字の中心に気を付けて、好きなお話を丁寧に書くことができる。 これまでに学習したことに気を付けて、書き初めを丁寧に書くことができる。	①筆順と文字の中心に気を付けて、「お手紙」や好きなお話を丁寧に書く。 ②正月の出来事を、これまでに学習した筆順や文字の中心に気を付けて、ます目の用紙に丁寧に書く。
2 ・ 3	7学んだことを生かして書こう ■お楽しみ会をひらこう	5	二年生で学習したことに気を付けて、友達のよいところを文にして丁寧に書くことができる。	①二年生で学習した外形、画の長さや方向、画の接し方・交わり方、画と画の間に注意して友達のよいところを文にして書く。 ②二年生の学習を生かして、カードやメダルやプログラムなどを作る。